

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 株式会社 ソフト99コーポレーション
 コード番号 4464 URL <http://www.soft99.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 田中 明三
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 土堤内 清嗣
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 06-6942-8761

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,596	—	499	—	561	—	241	—
20年3月期第1四半期	5,577	△3.0	478	△21.5	545	△18.2	310	△10.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	11.04	—
20年3月期第1四半期	14.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	44,224	39,220	39,220	39,108	88.2	1,786.89	1,779.68	
20年3月期	44,011	39,108	39,108	38,896	88.4	1,779.68	1,779.68	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 39,024百万円 20年3月期 38,896百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	21,500	0.0	1,600	8.3	1,850	2.6	950	41.2	43.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 22,274,688株 20年3月期 22,274,688株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 435,600株 20年3月期 418,724株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 21,845,697株 20年3月期第1四半期 — 株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、原油価格高騰を起因とする素材価格や生活必需品の価格の上昇と、物価上昇による消費者の生活防衛行動により、景気の低調感は鮮明になってまいりました。

このような経済状況の下で、当社グループ（当社及び連結子会社7社）は、環境の変化に対応していくため、各事業の特色や技術を活かしながら新しいことへチャレンジし、お客様に製品・サービスにおいて新しい付加価値を提供する「クルマと暮らしの輝きを創造する企業グループ」を目指して、営業活動に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高5,596百万円、営業利益499百万円、経常利益561百万円、四半期純利益241百万円となりました。

事業の種類別セグメントの営業の業績は次のとおりであります。

（クルマ）

自動車用品業界におきましては、自動車登録台数の減少や、ガソリン価格の高騰により消費者が自家用車を乗り控え、消費者向けカー用品市場の縮小傾向が続く厳しい事業環境の中、製品販売において美装業者向けの業務用商品「ビューティフルG' ZOXリアルガラスコート」が引き続き好調に推移し、また今春発売したウィンドー用の撥水剤「ビューティフルG' ZOX ハイパービュー」もカーディーラーのサービス取り込みの流れを受けて好調な滑り出しを見せました。また消費者向けカー用品においても昨年発売した「ガラコワイパーパワー撥水」や「ガラコミラーコートZERO」、「Wジェットガラコ耐久強化」等のガラコシリーズが好調に推移いたしました。既存品の販売が苦戦して減収となり、販売促進費等が増加した結果、減益となりました。

自動車関連サービスにおきましては、在庫が順調に推移し、工場の稼働も好転した結果、増収増益となりました。

自動車教習所事業においては、普通免許が苦戦しましたが、職業免許等でカバーして増収となり、職業免許における設備投資の償却負担が減少して損失幅を縮小いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間におけるクルマ事業部門の売上高は3,198百万円、営業利益は189百万円となり、製品販売部門の低迷をサービスでカバーできず減収減益となりました。

（暮らし）

スーパー銭湯を運営する温浴事業におきましては、スーパー銭湯ブームの沈静化によって来客数が減少し、減収減益となりました。

一方、生協向けの企画販売事業においては、独自商品の発掘と提案力の強化の取り組みが功を奏し、企画の採用率が好転して増収となり、のれん償却も前期末で終了したこともあり、増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における暮らし事業部門の売上高は925百万円、営業利益は2百万円となりました。

（産業）

産業資材部門におきましては、引き続き洗浄用ブラシローラーや吸水ローラーが好調に推移し、ハードディスク向け砥石においても前年並みに推移いたしました。

また、生活資材部門におきましても水泳関連商品や屋外作業用品が引き続き好調に推移したほか、クルマ向けの吸水セームの販売が海外の旺盛な需要により大幅に増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間における産業事業部門の売上高は1,407百万円、営業利益は265百万円と増収増益となりました。

（その他）

不動産賃貸事業におきましては、一昨年度末より入居を開始した賃貸マンションの賃料収入が安定して増収となり、募集費用等の一過性の費用がなくなったことにより増益となりました。これらの結果、当第1四半期連結会計期間におけるその他事業部門の売上高は64百万円、営業利益は40百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は44,224百万円（前連結会計年度末は44,011百万円）となり、213百万円増加いたしました。これは、温浴事業の改装に伴う設備等が増加したことや、投資有価証券が296百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、5,003百万円（前連結会計年度末は4,902百万円）となり、100百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は39,220百万円（前連結会計年度末は39,108百万円）となり、112百万円増加いたしました。これは四半期連結純利益241百万円の増加と配当金の支払185百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は6,230百万円（前連結会計年度末は6,545百万円）となり、314百万円減少いたしました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は246百万円の流入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益496百万円、減価償却費268百万円、法人税等の支払額452百万円を主要因としております。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は343百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得による支出123百万円、有価証券・投資有価証券の取得による支出399百万円、有価証券・投資有価証券の売却・償還による収入204百万円を主要因としております。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は212百万円の支出となりました。これは、配当金の支払額192百万円と自己株式の取得額10百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、厳しい経営環境が続く中においても、グループ各社の取り組みに成果があらわれてきており、当第1四半期連結会計期間における連結売上高及び連結営業利益は、ほぼ計画通りに推移いたしました。このようなことにより通期の業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表いたしましたとおり連結売上高21,500百万円、連結営業利益1,600百万円、連結経常利益1,850百万円、当期純利益950百万円となります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 棚卸資産については、従来総平均法による原価法によっておりましたが、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 所有権移転外ファイナンシャル・リース取引については、従来賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準13号 平成19年3月30日）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理（リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法）に変更し、リース投資資産として計上しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンシャル・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース投資資産が有形固定資産に12百万円計上されており、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

4. 当連結会計年度より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

なお、この変更による損益への影響はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数変更

当社及び国内連結子会社は、平成20年度法人税法の改正に伴い、機械装置については、改正後の法定耐用年数を適用し、当第1四半期連結会計期間より耐用年数の短縮を行っております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,399,326	6,670,010
受取手形及び売掛金	3,477,292	3,262,504
有価証券	300,744	300,244
商品	41,889	33,627
製品	1,252,816	1,174,191
原材料	326,840	364,594
仕掛品	224,469	223,802
繰延税金資産	177,716	247,834
その他	525,848	448,554
貸倒引当金	△28,374	△27,839
流動資産合計	12,698,570	12,697,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,472,813	6,510,652
機械装置及び運搬具（純額）	1,703,301	1,640,004
土地	15,821,289	15,821,289
その他（純額）	274,100	273,872
有形固定資産合計	24,271,504	24,245,819
無形固定資産		
のれん	26,946	36,574
その他	203,355	215,040
無形固定資産合計	230,301	251,615
投資その他の資産		
投資有価証券	5,280,937	4,984,075
長期預金	800,000	800,000
繰延税金資産	673,305	623,539
その他	341,170	479,925
貸倒引当金	△71,466	△71,479
投資その他の資産合計	7,023,947	6,816,060
固定資産合計	31,525,753	31,313,494
資産合計	44,224,323	44,011,019

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,121,434	1,038,005
未払法人税等	205,458	439,692
その他	1,580,596	1,309,439
流動負債合計	2,907,489	2,787,136
固定負債		
退職給付引当金	852,612	801,188
役員退職慰労引当金	326,434	393,200
繰延税金負債	498,750	498,750
その他	418,600	422,672
固定負債合計	2,096,396	2,115,810
負債合計	5,003,886	4,902,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,310,056	2,310,056
資本剰余金	3,116,158	3,116,158
利益剰余金	34,302,166	34,246,748
自己株式	△227,876	△217,549
株主資本合計	39,500,504	39,455,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△316,755	△419,337
土地再評価差額金	△207,204	△207,204
為替換算調整勘定	47,589	67,838
評価・換算差額等合計	△476,370	△558,702
少数株主持分	196,303	211,361
純資産合計	39,220,436	39,108,072
負債純資産合計	44,224,323	44,011,019

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	5,596,612
売上原価	3,594,069
売上総利益	2,002,543
販売費及び一般管理費	1,503,261
営業利益	499,281
営業外収益	
受取利息	20,002
受取配当金	17,574
その他	27,700
営業外収益合計	65,278
営業外費用	
支払利息	1,046
その他	2,201
営業外費用合計	3,247
経常利益	561,312
特別利益	
貸倒引当金戻入額	4,202
投資有価証券売却益	390
特別利益合計	4,593
特別損失	
役員退職慰労金	50,000
たな卸資産評価損	18,210
固定資産除却損	1,377
特別損失合計	69,587
税金等調整前四半期純利益	496,318
法人税、住民税及び事業税	225,208
法人税等調整額	20,351
法人税等合計	245,560
少数株主利益	9,564
四半期純利益	241,193

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	496,318
減価償却費	268,281
のれん償却額	1,015
受取利息及び受取配当金	△37,577
支払利息	1,046
売上債権の増減額 (△は増加)	△216,450
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76,746
仕入債務の増減額 (△は減少)	83,661
その他	145,492
小計	665,040
利息及び配当金の受取額	35,514
利息の支払額	△1,046
法人税等の支払額	△452,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却及び償還による収入	199,990
有形固定資産の取得による支出	△123,931
有形固定資産の売却による収入	27,430
投資有価証券の取得による支出	△399,327
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,836
その他	△52,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△343,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△10,327
配当金の支払額	△192,497
その他	△9,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,551
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△314,872
現金及び現金同等物の期首残高	6,545,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,230,221

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	クルマ (千円)	暮らし (千円)	産業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,198,556	925,831	1,407,311	64,913	5,596,612	—	5,596,612
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	5,464	408	24,084	23,113	53,071	(△53,071)	—
計	3,204,021	926,240	1,431,396	88,026	5,649,683	(△53,071)	5,596,612
営業利益	189,355	2,277	265,699	40,722	498,054	1,227	499,281

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品等

事業区分	主要製品等
クルマ	洗車用品(カーワックス等)、自動車用補修・整備用品、その他・家庭用品等、自動車教習事業、オートリース事業、オートサービス事業、自動車钣金塗装事業
暮らし	温浴事業、家庭用品企画販売事業
産業	工業用の研磨材、濾過材、吸水・洗浄材、生活用品等
その他	不動産賃貸事業

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	398,607	173,453	279,300	41,904	893,264
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	5,596,612
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	7.1	3.1	5.0	0.8	16.0

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……中国、台湾、シンガポール、インドネシア、マレーシア他

北米……アメリカ、カナダ

欧州……ドイツ、イギリス、ロシア他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	5,577
II 売上原価	3,612
売上総利益	1,964
III 販売費及び一般管理費	1,486
営業利益	478
IV 営業外収益	67
受取利息及び配当金	48
その他の営業外収益	18
V 営業外費用	1
支払利息	0
その他の営業外費用	1
経常利益	545
VI 特別利益	6
VII 特別損失	2
税金等調整前四半期純利益	548
税金費用	229
四半期純利益	310

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	548
減価償却費	290
受取利息及び受取配当金	△48
支払利息	0
売上債権の増加額	△385
棚卸資産の増加額	△79
仕入債務の増加額	36
退職給付引当金の減少額	△22
その他	23
小計	363
利息及び配当金の受取額	52
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△307
営業活動によるキャッシュ・フロー	107
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△399
有価証券・投資有価証券の償還及び売却による収入	300
有形固定資産の取得による支出	△322
有形固定資産の売却による収入	29
無形固定資産の取得による支出	△7
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△399
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金の減少額	△40
配当金の支払額	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	△524
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,699
VII 現金及び現金同等物の期末残高	5,175

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)

	クルマ (百万円)	暮らし (百万円)	産業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	3,343	901	1,301	84	5,631	(53)	5,577
営業費用	3,098	903	1,086	64	5,154	(54)	5,099
営業利益	244	△2	215	19	477	1	478